

令和 8 年度 群馬県済生会前橋病院・黒沢病院 連携協議会

議事概要

日時： 令和 8 年 9 月 9 日（水） 19:00～21:00

場所： ホテル ラシーネ新前橋 3 階「百合」

司会進行： 済生会前橋病院 地域連携課長 福田 智宏

出席者： 計 28 名（黒沢病院 12 名、群馬県済生会前橋病院 16 名）

【出席者名簿】

黒沢病院（12 名）

- 理事長：黒澤 功
- 理事長補佐 兼 透析センター長：大木 亮
- 院長 兼 予防医学研究所所長：伊藤 一人
- 副院長 兼 入退院支援センター長 兼 リハビリセンター長：大森 重宏
- 脳卒中センター長：小倉 丈司
- 内科診療部長 兼 高崎健康管理センター長：矢島 義昭
- 心臓血管部長：高橋 徹
- 第二内科部長：水口 貴仁
- 総合診療科部長 兼 消化器外科部長：木暮 道夫
- 入退院支援センター 副センター長：渡辺 加代子
- 入退院支援センター 主任：藤沢 拓真
- 入退院支援センター 副主任：黒田 涼矢

群馬県済生会前橋病院（16 名）

- 院長：細内 康男
- 副院長 兼 呼吸器外科代表部長：茂木 晃
- 副院長 兼 内分泌・糖尿病内科代表部長：荻原 貴之
- 外科代表部長：藍原 龍介
- 外科部長：大木 孝
- 外科部長：鈴木 茂正

- 外科部長：萩原 慶
 - 外科部長：八木 直樹
 - 外科医長：古家 俊作
 - 外科医員：武淵 裕貴
 - 緩和ケア内科代表部長：平山 功
 - 入退院支援センター 兼 外来診療室看護師長：金子 久美子
 - 医療福祉相談課長：池田 瑞保
 - 地域連携課長：福田 智宏
 - 地域連携課係長：今野 和明
 - 地域連携課主任：若林 綾子
-

【会議次第・議事内容】

1. 開会挨拶

済生会前橋病院 院長 細内 康男

開会にあたり、両病院の連携強化と本協議会の意義について挨拶が述べられた。

2. ご挨拶

黒沢病院 理事長 黒澤 功 様

日頃の地域医療連携への感謝と、今後の相互協力体制の発展に向けた期待が述べられた。

3. 乾杯

済生会前橋病院 副院長 茂木 晃

協議会の開会と両病院の発展を祈念して乾杯が行われた。

4. 済生会前橋病院からの報告

(1) 病院概要・病院紹介（発表者：済生会前橋病院 院長 細内 康男）

● 病院基本機能・指標：

- DPC 特定病院（許可病床数 323 床、実稼働 304 床、医師数 73 名、職員数 682 名）。
地域包括ケア・回復期リハビリ病床を持たない高度専門急性期病院。
- **2024 DPC 主要実績：** 腹腔鏡下胆嚢摘出術 全国 1 位、急性白血病 全国 12 位、手の

外科（手根管手術）全国 3 位、肝癌焼灼療法 全国 17 位、消化器癌手術数および治療数 群馬県 2 位（市中病院最多）。

- **2026 年 6 月 診療報酬改定対応：**

- 特定病院群（大学病院本院に相当する高い診療密度や高度医療技術を有する病院として厚労省が認定。全国 1,603 病院中 172 病院、群馬県内は済生会前橋・前橋赤十字・高崎医療センターの 3 施設）に指定。
- 急性期総合体制加算 5、地域医療体制加算 2、外科医療確保特別加算、内視鏡手術用支援機器加算を取得。

- **外科・腹腔鏡外科センターの手術実績：**

- 日本肝胆膵外科学会修練施設 A に認定。
- **2025 年全身麻酔手術実績（総数 1,061 件）：** 鏡視下手術数 844 件（鏡視下割合 94.1%）、うちロボット支援下手術 216 件。
- **主な手術内訳：** 胆嚢摘出術（354 件/100%）、大腸癌（139 件中 123 件/88.4%、ロボット 97 件）、胃癌（55 件中 51 件/92.7%、ロボット 44 件）、虫垂切除術（64 件/100%）。

- **ロボット支援手術の優位性と成果：**

- **胃癌：** ステージ II/III において腹腔鏡下手術と比較して有意に生存率が向上し、合併症が減少。
- **直腸癌：** 3 年無再発生存率（87.2% vs 83.4%）、3 年局所再発率（1.6% vs 4.0%）でロボット支援が有利。
- **膵頭十二指腸切除（n=70）：** 出血量中央値 36mL、膵液漏 7.1%、術後在院日数中央値 15 日。低侵襲で合併症が少なく、術後補助化学療法を早期開始できるため予後改善に貢献。

(2) 外科・腹腔鏡外科センター報告（発表者：済生会前橋病院 外科代表部長 藍原 龍介）

- **スタッフ体制と診療の特色：**

- **体制：** 消化器外科 8 名、呼吸器外科 1 名。
- **資格保持：** 日本内視鏡外科学会技術認定医 3 名、肝胆膵高度技能医 3 名・指導医 1 名。コンソール（ロボット術者資格）6 名、プロクター（指導資格）5 名。
- **ロボット手術率の推移（2025 年）：** 胃 86%、結腸/直腸 78%、膵臓 100%、肝臓 57% まで拡大。

- **学術的評価・受賞：**

- ガイドライン改訂（2025 年第 7 版）に伴い胃癌等への適応が拡大。
- 古家医師が日本肝胆膵外科学会 膵頭十二指腸手術動画コンテスト（若手）で 2 位を獲得。第 16 回・第 17 回 膵臓内視鏡外科研究会 U-40 にて最優秀賞を受賞。

- **両院連携の考え方と連携症例：**

- **連携方針：** 黒沢病院（健診による早期発見、充実した術後フォロー、バックアップ体制）と済生会前橋病院（高度急性期・集約的手術）の強みを活かし、地域内で切れ目の

ない治療体制を構築。

- **症例 1 (70 代 胃 GIST)：** 黒沢病院の健診・精密検査で発見され済生会前橋病院へ紹介。腹腔鏡下胃部分切除術（超低リスク Stage I）を施行し、退院後の定期 CT・内視鏡フォローは黒沢病院で実施。
 - **症例 2 (60 代 胃癌術後・多発脳出血)：** 済生会前橋病院で胃全摘・抗癌剤治療中に急激な意識低下を来した際、黒沢病院脳神経外科へ緊急搬送・受入れを行った相互連携事例。
 - **今後の連携方針：** 診断未確定段階からの相談受入れ、迅速な結果報告、治療終了後の逆紹介徹底を推進。
-

5. 黒沢病院からのご報告

(1) 黒沢病院の取り組みおよび施設紹介（発表者：黒沢病院 理事長補佐兼透析センター長 大木 亮）

● 病院概要・施設機能：

- **病床数：** 130 床（急性期 102 床 [うち SCU 12 床]、地域包括 28 床）。標榜 27 診療科。
- **関連施設：** ヘルスパーククリニック、老健くろさわ、特養「さとの花」「やまの花」、介護付き有料老人ホーム「カーサデヴェルデくろさわ」等を展開。
- **救急搬送受入実績：** 2025 年の救急車受入件数は 4,482 件（群馬県内医療機関で第 6 位）。

● 泌尿器科の取り組みと最新治療（アクアブレーション）：

- **体制・実績：** 泌尿器科医 8 名が在籍。2025 年度手術件数は 934 件（前立腺生検 241 件、尿管ステント 129 件、TUL 103 件、TUR-Bt 94 件、ESWL 87 件、アクアブレーション 59 件、HoLEP 32 件、RARP 21 件など）。
- **透析管理：** 透析患者数 217 名（2026 年 8 月時点）。月 2 回（第 2・第 4 金曜）血管外科医師によるシャント手術・トラブルに対応。
- **前立腺肥大症ロボット治療「アクアブレーション（Aquablation Therapy）」：**
 - 2025 年 1 月に県内初導入（同年 9 月上毛新聞一面掲載、2026 年 7 月群馬テレビ特集）。
 - **特長：** 超音波と膀胱鏡によるリアルタイム画像ガイダンスのもと、熱を用いない高速ウォータージェットでロボットが自動切除。
 - **メリット：** 熱損傷がなく勃起機能や射精機能の温存率が高い。組織サイズに依存せず再現性の高い切除が可能で、手術時間・ラーニングカーブを大幅に短縮。
 - **適応：** 前立腺肥大症に伴う下部尿路障害を呈する患者（特に前立腺体積 50ml 以上）。

- **受入体制：**泌尿器科医 8 名による 365 日 24 時間オンコール体制で患者の紹介に対応。
- (2) 黒沢病院 脳卒中センターの取り組み（発表者：黒沢病院 脳卒中センター長 小倉 丈司）
- **センター体制と医療機能：**
 - **実績：**脳卒中センター開設（2014 年 7 月）より 13 年目。
 - **体制：**脳神経外科常勤医師 6 名（大森副院長、小倉センター長、中島医師、塚越指導医、木村医師、小豆原専攻医）。埼玉医科大学国際医療センターからの人的支援を受け、24 時間 365 日体制を維持。
 - **SCU（脳卒中用集中治療室）：**12 床完備。3 対 1 の看護配置、専任スタッフにより持続脳波モニタリング、髄液ドレナージ、脳圧モニター等の高度集中治療を実施。
 - **脳卒中ホットラインと専門診療：**
 - **脳卒中ホットライン：**救急隊や連携病院からの直接連絡を受け、「脳卒中を断らない」方針で運用。
 - **設備・治療範囲：**手術室に最新式の脳血管撮影装置および手術用顕微鏡を導入。
 - 機械的血栓回収術（急性期脳血管閉塞に対する急速再開通療法）。
 - 脳血管障害の全的外科治療に対応（開頭クリッピング術、血管内コイル塞栓術、頸動脈内膜剥離術/ステント留置術、バイパス手術）。
 - **認定状況と地域での位置づけ：**
 - **PSC コア施設認定：**日本脳卒中学会より一次脳卒中センター（PSC）コア施設に認定（群馬県内 5 施設：群馬大学病院、前橋赤十字病院、老年病研究所附属病院、美原記念病院、黒沢病院）。2025 年 2 月上毛新聞掲載。
 - 今後導入予定の「包括的脳卒中センター」を見据え、高崎・前橋エリアにおける急性期脳卒中医療の中核を担う。
-

6. 閉会の挨拶

済生会前橋病院 副院長 荻原 貴之

本日の活発な意見交換への謝辞と、今後の両病院における連携のさらなる推進に向けた締めめの挨拶が述べられ、連携協議会は盛会裏に閉会した。